

文芸

投稿は投稿者の住所、電話番号を記入し、役場広報係まで。締切は毎月15日(必着)です。

短歌

末武 有二 選

槇の枝の天辺にいつも陣を取り縄張り告ぐる
百舌の高鳴き

安永 守住 孝子

脚立乗り父さん庭師腕振るう離れて眺めお
う上出来

古閑 井上てつ子

日差し避け看板の影立ちおれどわが身太くて
はみ出しており

惣領 島田 廣子

少しだけ月を見たいと思ひおりシャッター閉
めればのぞく窓なく

宮園 金子フム子

体温計割れて水銀飛び散りぬ子どもの頃の古
き思い出

江津 高田美佐子

病院食箸もつけずに「苦瓜にがくりのこかけ」うましと
母完食す

木山 本田 龍子

気遣いし台風も過ぎ庭先のむらさきさきぶ色
鮮やかに

安永 川野 光子

猛暑日と災害続く列島も令和の年の稔りの秋
に

惣領 新居 露子

晩秋の夕日真つ赤に空染めて西のお山に今隠
れゆく

小谷 今吉マキ子

風に舞う匂いが誘う散歩道あひせんみち千金木せんぎんぎの花

新外 西田 正巳

地蔵祭読経どじょうきやう読まれる村中に復興住宅建設続
く

宮園 田島 安代

お願い 漢字にはふりがなを記入してください。

一枚のハガキに、部門(短歌、俳句、川柳)が異なる作品は併記しないでください。広報投稿作品の、他への重複投稿は遠慮ください。

俳句

河野 全平 選

散れば咲き散れば咲きしてさるすべり

惣領 阪口由美子

店頭に山と積まれた青みかん

広崎 瀬戸サイ子

解体のいとしき庭に秋の蝶

宮園 野口志津子

秋雨やせつないニュース天恨む

古閑 井上 誠二

夕暮れの風爽やかに秋惜しむ

小谷 今吉マキ子

いでたちのわりには釣れず下り鮎

惣領 鎌田 正吾

耕す手折れた落ち穂を拾いけり

古閑 今村 恒心

ひまわりの西を向きたる道帰る

木山 山口サツキ

竹の春この坂越せば見ゆる里

田原 辻ヶ峰子

一句鑑賞

みちのくの雨そそぎるる桔梗かな

水原秋桜子

川柳

布田川左門 選

『お題』 ガソリン・キナ臭い

ガソリン満タン出発進行もみじ狩り

ドライブちずこ

キナ臭いモノにはしっかりフタしよう

われなべ吉郎

改憲の風はじんわりキナ臭い

反戦正巳

※参考例

機雷除去ホルムズ海峡キナ臭い

『お題』 自由詠

振り返りまた振り返り手を振る子

校長正巳

みず穂の国を踏んだり蹴ったり秋去りぬ

かなしきまゆみ

領海侵犯水の中なら分かるまい

やぶにらみ

※参考例

また来年空の水ガメきつと来る

川柳のお題 「4車線・新庁舎」

益城の文化財
町文化財保護委員会

発掘
益城

下 陳

木造千手観音
菩薩立像

千光寺の本堂内には、カヤ材で造られた像高272・2センチの「千手観音立像」が本尊として安置されています。この観音像は、寄せ木造りで、県内最大級の仏像だと言われています。震災後、熊本県立美術館の再調査で、鎌倉時代(13〜14世紀)の作とされています。

古文書によると、千光寺は、津森城主光永氏が本堂と仁王像を建立したとあり、建立の時期は、室町時代(15世紀前半以降)と推定されます。

そうすると、仏像の作成時期と千光寺の建立時期が合わないことになります。建立された時に、現在下陳地区の奥村にある「地藏堂」の周辺にあったと推定される「石川の寺」(平安末期に開基された大寺院)の本尊であった観音像が、千光